

- 自然災害やコロナ等の危機に対する観光レジリエンスの強化は、世界共通の課題。
- 未曾有の大災害から復興を遂げる観光レジリエンスの先進地であり、サステナブルな観光地としての取組が進む東北・仙台において、世界観光機関（UN Tourism）と連携し、11月9～11日まで「観光レジリエンスサミット」を開催。
- 「観光レジリエンスサミット」のプログラムの一つとして、過去に大きな災害を経験した国や地方自治体、観光事業者、観光団体等から講演者を招いて「観光レジリエンスサミットシンポジウム」を11月9日に仙台国際センターにおいて開催し、過去の災害等を教訓とした今後の対策等に関する議論を通じて観光レジリエンスに関する知見を深めていく。

概要・プログラム

◎概要

開催日時：2024年11月9日（土）14：00～17：00 開催場所：仙台国際センター 会議棟2階萩

共催：観光庁、UN Tourism駐日事務所

◎プログラム概要（敬称略）

○開会・挨拶 観光庁、UN Tourism、仙台市

○基調講演 国連防災機関（UNDRR）駐日代表 松岡 由季

○パネルセッション I 「テーマ：観光危機発生時への備え－観光客・旅行者の安全と安心を確保するために必要なこと－」

モデレーター：観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人

パネラー：PATA（太平洋アジア観光協会）、国土交通省気象庁仙台管区気象台、公益財団法人仙台観光国際協会、和倉温泉加賀屋

○パネルセッション II 「テーマ：危機後の事業継続と復興への備え－観光地・観光事業者への影響を最小限にするために必要なこと－」

モデレーター：観光レジリエンス研究所 代表 高松 正人

パネラー：公益社団法人日本観光振興協会、東日本旅客鉄道株式会社、東北大学災害科学国際研究所、CDEMA

○閉会 UN Tourism駐日事務所